

黄蓮谷右俣

21年9月20日~22日

メンバー：A. T N. W I. O K. O (記)

9月20日 晴れ

前日に日向山登山口まで車で入り仮眠。翌20日は朝3時に起床し4時半に出発
いよいよ、4名によるあこがれの黄蓮谷右俣の遡行が始まった
なお、ここではできるだけルート概要がわかるように写真を中心に報告をまとめた



日向山登山口 午前4時30分発



林道終点 5時45分~5時55分
しばしトイレ休憩をとった



入溪点 6時5分~6時15分
・入溪の身支度をする
・林道から河原まではフィックスが張ってある



最初の小さな滑滝

- ・水はエメラルドグリーンに映えていた
花崗岩とのコントラストが美しい



夫婦滝の一つ目 6時35分

- ・左から巻く 明瞭



夫婦滝の二つ目 6時45分

- ・この後、鞍掛沢を分ける
これより上は連瀑帯となる



梯子滝 6時55分

- ・ワイヤーが斜めにぶら下がっており、
左から巻いてこのワイヤーのところに出た
- ・右から水流を飛び越している記録があったが、無理をせず巻いた



滝を巻いて降りた次の滝 7時10分

- ・はじめ左を巻き、10分無駄にする
 - ・右から巻く
- 中間のバンド伝いに登れそうであった



遠見滝 7時35分

- ・滝は2段のスラブ滝になっていた
- ・左から巻く フィックスあり



大釜の滝 7時57分

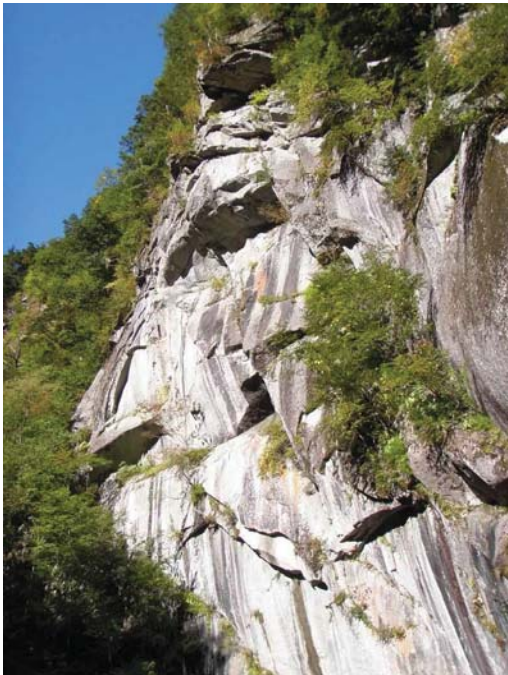
- ・遠見滝に続いて左から巻く
 - ・遠見滝を巻き、さらに巻き上がっている途中に大釜を持った滝を見ることができる
- 見物後、元の道に戻る



大釜の滝の上に出て、少し歩くとスラブとなる

8時10分

- ・フィックスがあるので、掴んで登る



花岩 8時20分



噴水の滝

- ・花岩のすぐ下にある滝 水量が少ないので噴水の高さはしれていた
- ・左から登る



噴水の滝を上から見たところ



噴水の滝の上部には、滑滝が続く



さらに深い釜を持つ滝や小振りの滝も出てくる





その後は獅子岩まで河原歩き 8時35分

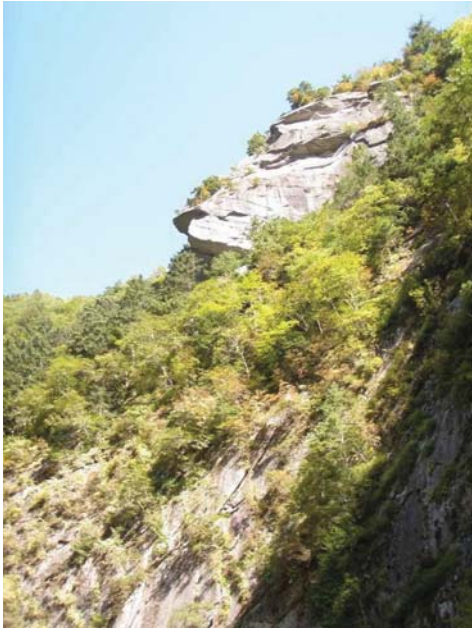


小休止 8時40分～8時50分



獅子岩手前の滑滝↓
←左から越える





獅子岩 9時05分



尾白本谷との出会い 9時30分
・獅子岩を見てしばらく歩くと出会いに
到着する



大きい釜を持った滝 9時35分
・右から巻く
この後はしばらく河原歩きとなる